

ちぼりグループの SDGsへの取り組み

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



株式会社 ちぼりホールディングス

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



持続可能な開発目標(SDGs)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

外務省HPより



ちぼりで製造している一部の商品に、以下の原材料を使用しています。

①フェアトレード認証の原材料

ちぼりのお菓子に使用する原料は、フェアトレード認証を受けたものを積極的に仕入れています。

②リサイクル可能なお菓子缶を積極的に利用

③環境トレー ※自然環境で分解する素材を51%以上使用

④水性インクを使用したパッケージ

⑤FSC認証の紙包材





三地(産地)主義

ちぼり湯河原スイーツファクトリーでは、“三地(産地)主義”と題して「地元の産物を、地元で加工・販売し、地元に戻元する」を大切なテーマの1つとしてお菓子づくりをしています。



地元の柑橘を使用したスイーツ

地元の子どもたちへの食育活動

ちぼり湯河原スイーツファクトリーは、地元の園児・小学生を対象とした社会科見学・お菓子づくり体験を通じた食育活動を実施しています。お菓子を原料素材から触れていただくことで、農産物の恵みが、お菓子に加工されてお口に入るまでを意識して頂き、“食を意識する習慣”をお伝えしています。



社会科見学・お菓子づくり体験の様子

災害時の避難所・食料備蓄倉庫としての機能

ちぼりホールディングス 本社は、地震・津波などの災害時、地域の方々の避難所機能を想定し、大型発電機等を備えた設計となっています。また、食糧確保の観点から、一定の備蓄を整備すると共に、お菓子の在庫の有事放出を常時想定しています。年に一度、地元の方々との災害を想定した避難訓練も実施しています。



避難所を想定した食堂



地元の消防署との
はしご車を使用した避難訓練



避難訓練の様子



食品ロスの活用

過剰在庫や、ワレ・欠け在庫について、地域イベントへの無償提供(アウトレット商品化)、飼料への循環など、積極的な活動を行っています。



ワレ・欠け在庫 イメージ

食品ロスの削減

原料や商品の食品ロスを削減すべく、あえて大口生産の効率性を追わず、少ロット生産を方針としています。

節水ノズルの導入

2018年度より、グループ各工場に節水ノズルを導入しました。これにより従来比で約60%の節水を目指しています。



節水ノズル

現在

ホームページや社内SNS・社内報で、ちぼりグループの取り組みを社外・社内に発信・周知



2019年秋(目標)

「かながわSDGsパートナー」企業になり、更なる広報活動を実施

**今後も、ちぼりホールディングスは、
グループ一体でSDGsへの取り組みを推進すると共に
同目標を広くステークホルダーと共有、深化して参ります。**